

日本の展望委員会・人文社会科学作業分科会 第1回会議要旨

日時：平成20年9月2日 13:00～15:00

場所：日本学術会議5-C(1)会議室

出席者：広渡、佐藤、江原、小林、柴田、前田、秋山、今田、桜井

(事務局) 廣田、川上、藤本、高橋

渡辺、戸田、井上、大西、中島

欠席者：油井、淡路、橘木、平松

議題：

1・役員の選出

- ① 分科会委員の互選により、広渡連絡世話人が全員一致で分科会委員長に選出された。
- ② 広渡委員長より副委員長に秋山委員、幹事の今田委員、小林委員が指名された。

2・今後のスケジュールについて

- ① 本分科会で作成する文書は、「日本の展望—学術からの提言」の起草のために日本の展望委員会に提出するが、また、独自の意思の表出としての役割をもつものとして位置づける。「日本の展望」委員会には、「起草分科会」が設置され、提言を作成する。
- ② 2009年4月総会で中間報告を行い、2009年10月総会で素案を提案し、2010年4月総会で素案を採択する。

3・今後の分科会の方針について

- ① 本分科会は、1部所属10分野別委員会からA4版15—20枚程度のレポートを提出してもらい、それを「日本の展望」委員会に繋ぐ役割を果たす。ただし、心理学・教育学委員会については、心理学と教育学で別々にレポートを提出する。
- ② 各分野別委員会は、「社会への貢献」「グローバル化への貢献」「学問分野をどのように継承・発展して行くのか」を共通論点として留意してレポートを作成する。
- ③ 各分野別委員会では、2008年10月総会以降に、そのための審議を開始する。
- ④ 本分科会で作成する文書の内容については、各分野別委員会からのレポートをふまえつつ、10分野に共通する問題についてとりまとめるものとするが、なお検討する。
- ⑤ 本日の分科会の議事メモを作成して、分科会委員に送付する。

次回分科会を平成20年11月中に行うこととし、4日13—15時、または11日13—15時で日程調整をおこなう。